1.まずはじめよう。

これまでUNIXを使ったことのないユーザがログインするまでに必要な手順を説明します。読者はUNIXの経験はないけれども他の計算機の使用経験は十分にあって基本的な概念や用語はすでに知っていると仮定します。説明なしに使っている用語は特定の計算機によらない概念や、VMSや他のシステムと共通の概念を表すものです。

1.1.心構えをする。

UNIXは最近のワークステーションやパーソナルコンピュータで非常に多く使われているOSですが、その歴史は古く60年代にさかのぼります。当時の300ボーのテレタイプ等遅い端末で使われていたため、非常に寡黙な上に、命令も短縮されていてタイピングが徹底して節約されています。これがとっつきにくさの原因の一つです。もう一つはその長い歴史の間にどんどんと機能が膨らまされていきました。もともと大学のプロジェクトとして公開されたシステムであったために非常に多くの人が思い思いに拡張を加えていった結果、命令や引き数、オプションの名前や指定の仕方がてんでばらばらです。さらに本来使われた意味とちがってきたものもあります。

UNIXを覚えるにはまず、「謎を解く」気持ちで接することが大事です。命令の名前の短縮の仕方にあるパターンが隠されている事に気がつくとUNIXが非常に身近に感じられるようになります。

逆に以上の理由でUNIXは他のOSに比べ非常に多くのコマンドが用意されています。またコマンドを自分で作って組み込むことも簡単です。慣れると非常に小回りのきく使いやすさもあります。慣れるまでの最初の少しの間が、学習曲線が急かも知れません。とにかく始めましょう。

1.2.自分のアカウントをもらう。

まず最初にすることはアカウントを作って貰うことです。ユーザ登録はシステム管理者にやってもらいます。通常管理者に伝えなければならない情報は自分の好みのユーザ名、フルネーム、連絡先です。アカウントが作られると、管理者は実際に作られたユーザ名と仮のパスワードを教えてくれます。計算機の名前であるホスト名も必要です。

ユーザ名には8文字までという長さの制限があります。

1.3.はじめてログインする。

ホスト名、ユーザ名と仮のパスワードがわかるといよいよログインです。最初に自分の端末からその計算機を呼び出さなければなりません。仮にホスト名をsakanaya、ユーザ名をiwashiとします。

(1)ワークステーション本体を使う場合。X端末でその計算機のログインウインドウが表示されている場合。

このときは`Username:`の後に自分のユーザ名を`Password:`の後に仮パスワードを入力します。この後リターンキーを押すと画面が変わっていくつかのウインドウが表示されます。「日本語端末」だとか「コマンドツール」などのタイトルの付いたウインドウが表示されている場合それをマウスでクリックすると入力可能な状態になります。該当するものがないときは、セッションマネージャやワークスペースメニューなどで上述の端末エミュレータを起動してください。やり方がわからないときは誰かに聞いてください。

(2)ターミナルサーバやVAXの端末を使っている場合。

とりあえずVAXにログインします。そこから `telnet sakanaya` と入力しリターンキーを押します。このときsakanayaからの`Username:`というプロンプトが表示されたら自分のユーザ名を入力します。`Password:`と聞いてきたら仮パスワードを入力します。
もしVAXのエラーメッセージで「telnetを知らない」といわれたら、それを知っていそうな計算機に、たとえば `set host kekvax` などで移ってから`telnet`やってください。

(3)Macintoshを使っている場合。

フォールダーに`telnet`の文字がある時はそれを開いてtelnetを起動します。`File`メニューの`open connection`項目を選択します。ホストを選ぶウインドウが表示されます。`Host ID`の欄にホスト名sakanayaを書いてリターンキーを押すと端末ウインドウがあらわれ、`Username:`が表示されます。以下同じ。もしtelnetがなければ、versatermなどでVAXにはいって(2)の方法でログインしてください。

(4)PC98やIBMPC、互換機を使っている場合。

`telnet sakanaya`をやってみます。うまくいけばよし。だめなときはkermitなどの端末エミュレータを起動します。どこかのVAXにはいって(2)の手順でつなぎます。だめなときは....だめです。

以上の(1)から(4)のいずれかの方法でめざすsakanayaにログインできました。画面にはプロンプト`%`が表示されます。まずパスワードを変更します。

```
% passwd                          ←パスワード変更命令
Changing password for iwashi on sakanaya.
Old password:                    ←仮パスワードを入力
New password:                    ←新しいパスワードを入力
Retype new password:             ←確認のためもう一度
%
```

UNIXの場合は大文字と小文字は別の文字として扱われます。またUNIXの命令は多くの場合そのままファイル名ですから省略はできません。(別名を付けることはできます。)

ログアウトしましょう。

```
% exit
```

再度接続してログインしてみて下さい。今度は新しいパスワードが有効になっているはずです。うまくログインできないときはシステム管理者に泣きついて下さい。^_^;